



新しいクラスへの移行について

11月 つき組

名島保育園では、ひとりひとりの子どもがそれぞれの発達段階にあった環境で過ごせるように、クラスが分かれています。次のクラスで過ごす準備が出来た子どもがそのクラスへ移動していくことを「移行」と呼んでいます。つき組で準備が出来たお子さんは、次のクラスとなるほし組・はな組の環境を少しずつ紹介していき、クラスが移行していくこととなります。そのタイミングは、子どもによって異なりますが、大体1才3ヶ月～1才半頃です。1才3ヶ月頃は、自分の意思のもとに自分の身体の全てを動かすことが出来るようになる時期です。今月は、その移行の目安について書きたいと思います。

❖ 食事が完了食になり、授乳せず過ごせる。

昼食の時間が11時頃になりますので、朝ご飯をしっかり食べて生活リズムを整えましょう。

❖ 歩行が安定する。

両手で物を運ぶことができる。

段差を確認しながら階段の登り降りができる。

ほし組の緩やかな階段で繰り返し練習します。園庭やホールにての活動へ参加できるようになります。



❖ 言葉に興味があり、理解しようとする。

指をさして物の名称を知りたがったり、している人の口元をみたりする姿が多くなります。

❖ 園生活に慣れ、自立に向かおうとする心になっている。

❖ 日常生活、靴や衣服の着脱、排泄に興味がある。

戸外に出る時には、帽子と靴を用意する。トイレやオマルに慣れるパンツをはこうとする姿が見られます。

入園時に慣らし保育をしたように、移行する前には、つき組の保育士と一緒にほし組・はな組、ホール・園庭・廊下等、に出かけて、新しい環境を紹介しています。活動場所が広がると、新しい活動に興味を持ったり、他の友達や保育士に慣れてきて、次第に食事や午睡、午後の活動へと過ごす時間がのびて、移行していきます。時々、自信に満ちた顔でつき組をのぞき込んだり、懐かしんでつき組に遊びに来ることもありますよ。移行についてわからないことがあれば、保育士にお尋ねください。

